

## 大学院研究室だより

### 大学院の開設

1987年4月神田外語大学外国語学部：英米語学科200名・中国語学科60名・スペイン語学科20名・韓国語学科20名を設置し開学。

1992年4月神田外語大学大学院言語科学研究科が、英語学専攻（修士課程）と日本語学専攻（修士課程）の2専攻、入学定員：英語学専攻8名・日本語学専攻8名をもって開設。現在は英語学専攻が英語学コース・英語教育学コース・英語コミュニケーションコースの3コース、日本語学専攻が日本語学コース・日本語教育学コースの2コース、計5コースを設置。

更に、学際的言語科学の創造的開発能力を持つ研究者養成の為、神田外語大学大学院言語科学研究科博士（後期）課程を1994年4月に入学定員2名として設置。

### 開設からの入学者数

	— 修士課程（博士前期課程） —		— 博士後期課程 —
	英語学専攻	日本語学専攻	言語科学専攻
一期生	8人	10人	3人
二期生	6人	12人	2人
三期生	5人	9人	
四期生	7人	9人	

### 平成7年度 講演会・研究会

<神田外語大学大学院研究会>

1995年7月20日

An Optimalist Approach to

Binding and Coreference ..... インディアナ大学助教授 北川 善久

<神田外語大学大学院講演会>

1995年11月21日

Binarity and Hierarchical Alignment

..... UC Santa Cruz 準教授 伊藤 順子

## 平成7年度修士論文題目と執筆者氏名（前期修了者）

### 日本語学専攻

「連体修飾形式「ような」の意味・機能

— 様態・比喻・内容指示と例示を中心にして— ..... 安田 芳子

「日中動詞のアスペクト

— 「V-テイル」を中心にして— ..... 菅谷 有子

「日本語の否定表現

— 『は』と否定のスコープ，否定の焦点— ..... 田坂 敦子

「言語獲得における中国語話者の誤解の問題

— 日本語のあいまい性をめぐって— ..... 藤巻 和代

## 平成7年度修士論文題目と執筆者氏名

### 英語学専攻

“Covert Wh-Movement and Its Locality” ..... 村山 和人

“A Comparative Study of Verbal Expressions Concerning the Act of  
Apology : Professor/Student Relationship

in Japan and the U.S.” ..... 岡田 裕子

“An Exploratory Study of the Use of Relative Clauses

by Entering University Students in Japan” ..... 川村 正樹

“An Exploratory Study of the Design of An English Oral

Production Test for Use in Japanese High Schools” ..... 高知尾 和

### 日本語学専攻

「時間副詞句による日本語動詞のアスペクト素性の考察」 ..... 中村 英子

「『と思う』の使い分けを考える—『思う』付加表現

が持つ言語情報処理の過程と視点の違いについて」 ..... 柿埜 晴恵

「照応形『自分』の語用的研究」 ..... 佐野 香織

「可能の概念と意味範疇」 ..... 青木ひろみ

「『も』の取り立て機能

—意味的レベルと語用的レベルの考察— ..... 伊藤 健人

「宮城県気仙沼市方言の記述的研究

—文法を中心として— ..... 木幡 弓

### 修士課程修了者の進路

1992年大学院開設以来の博士前期課程入学者は、1期生18名（英語学専攻8名、日本語学専攻10名）、2期生は19名（英語学専攻7名、日本語学専攻12名）、3期生14名（英語学専攻5名、日本語学専攻9名）計51名であった。このうち95年度末までの課程修了者は36名（英語学専攻10名、日本語学専攻26名）である。

社会人学生も多いので、これらの学生は在学中から中学・高校の英語教諭、日本語教師養成や日本語教育の常勤または非常勤講師として活躍している。

課程終了後の進路としては、94年開設の博士後期課程への進学3名、他大学の大学院への進学1名、神田外語大学言語教育研究所専任助手1名、北京にある日本人学校の教師1名、韓国の慶北大学の日本語講師4名などで、国内はもとより海外での活躍も目立つ。

## 平成7年度開講科目、担当者

### [修士課程]

#### —英語学専攻—

授業科目	担当者
英語学研究ⅠA・B (音声・音韻)	河野 武
英語学研究ⅡA・B (統語論)	村木 正武
英語学研究ⅢA・B (語彙・意味論)	村木 正武
英語学研究Ⅳ (現代英語語法)	久泉 鶴雄
英語学演習Ⅰ	村木 正武
英語学演習Ⅱ	長谷川信子
英語教授法	S. イーグル
英語表現法Ⅰ	原岡 笙子
英語表現法Ⅱ	関谷 康
英語教育学演習Ⅰ	F・ジョンソン
英語教育学演習Ⅱ	佐々木輝雄
英語コミュニケーション論	平井 一弘
スピーチコミュニケーション	松本 茂
英語コミュニケーション演習	久米 昭元
応用言語学	小池 生夫

#### —日本語学専攻—

授業科目	担当者
日本語学研究Ⅰ (音声・文字)	大島 一郎
日本語学研究ⅡA・B (統語論)	奥津敬一郎
日本語学研究ⅢA・B (語彙・意味論)	徳永 美暁
日本語学研究Ⅳ (方言研究)	大島 一郎
日本語史	大島 一郎
日本語学演習	大島 一郎
日本語教育学演習Ⅰ	奥津敬一郎
日本語教育学演習Ⅱ	徳永 美暁
日本事情	山領 健二
日本文化論演習	梶尾 俊哉
日中韓対照言語学	奥津敬一郎
中国語学概論	岩田 礼
スペイン語学概論	宮城 昇
日本語教授法Ⅰ	中田 清一
日本語教授法Ⅱ	徳永 美暁
	岩本 遠億

#### —両専攻共通科目—

言語習得理論	原田かづ子	日本語表現法A・B	徳永 美暁
言語習得理論	大津由起雄	英日対照言語学	井上 和子
異文化コミュニケーション論	久米 昭元	言語学特論Ⅰ	岩本 遠億
言語学	J.E.エモンズ	言語学特論Ⅱ	長谷川信子
音韻論	原口 庄輔	日本語学概論	奥津敬一郎
意味論	J.E.エモンズ	日本文化論	梶尾 俊哉
情報科学	山本 修		

### [博士後期課程]

#### —言語科学専攻—

授業科目	担当者	授業科目	担当者
言語学特論演習(1)	井上 和子	日本語学特論演習	大島 一郎
言語学特論演習(2)	奥津敬一郎	日本語学特殊研究	徳永 美暁
英語学特論演習(1)	村木 正武	コミュニケーション特殊研究	久米 昭元
英語学特論演習(2)	F.ジョンソン	比較日本文化特殊研究	梶尾 俊哉

## 編集後記

創刊号は掲載論文6編でやや寂しかった。しかもそのうちの2編は教員の論文であった。前期・後期課程在学の院生や課程修了者の論文がもっとあっていいと思っていたが、今回の第2号は、教員論文1編・客員研究員報告1編を含めて、10編となった。嬉しいことである。1992年4月の大学院開設以来1期生・2期生20名が修士の学位を取得し、今3期生を送り出そうとしている。課程修了者の増えることが、優れた掲載論文の増えることになるよう期待している。なお、表紙の題字は、大島一郎教授にお願いした。ありがとうございました。  
奥津（1996. 1. 31）

## 執筆者紹介（掲載順）

長谷川	信子	神田外語大学大学院教授	言語学
藤巻	一真	神田外語大学大学院生（後期）	英語学
外崎	淑子	神田外語大学大学院生（後期）	英語学
吉川	正則	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
安田	芳子	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
遠藤	藍子	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
田坂	敦子	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
銅直	信子	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
由本	樹子	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
藤卷	和代	神田外語大学大学院前期修了	日本語学
趙	月花	神田外語大学客員研究員	

## 編集委員

奥津敬一郎（委員長）  
久米昭元  
須賀章夫  
上田由紀子  
藤巻一真

---

## 言語科学研究 第2号

1996年3月発行

発行 〒261 千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学大学院

TEL. 043-273-1233

FAX. 043-272-1777

印刷 〒112 東京都文京区小石川1-5-12

猪瀬印刷株式会社

---